

日本応用藻類学会 第19回大会と総会のご案内

日本応用藻類学会会員各位

日本応用藻類学会会長 三上 浩司

日本応用藻類学会第19回大会を、下記の要領で開催しますので、ご案内致します。

記

1. 開催日 2021年9月4日(土)10:00~18:00, 9月5日(日)10:00~12:00 (演題数が少ない場合は前日のみ)
2. 会場 宮城県仙台市太白区旗立二丁目2番1号 宮城大学 太白キャンパス 大講義室, 控室
3. 日程 (コロナ禍の状況により、オンライン開催への変更の可能性があります(1ヵ月前に周知します))

9月4日(土)

9:30~ 受付開始

10:00~12:00 口頭発表

13:00~13:30 口頭発表

13:30~15:00 ポスター発表

15:15~17:00 企画シンポジウム

17:15~18:00 総会 (会主催の懇親会は行いません)

総会終了後、帰りのバス(18:52)までご歓談ください。

9月5日(日)(演題数が少ない場合は前日のみ)

10:00~12:00 口頭発表

【学生賞について】

第19回大会より、口頭発表およびポスター発表で各7名以上の発表がある場合に限り、学生賞(優秀賞:口頭発表、ポスター各1名ずつ)を設けます。対象は、学士、修士、博士課程の学生に限ります。学生の積極的なご参加をお願い致します。

4. 大会参加費(当日会場入り口の受付にて徴収)

日本応用藻類学会会員：事前申し込み 2,000円, 当日申し込み 3,000円

日本応用藻類学会非会員：事前・当日申し込みとも 4,000円

* 聴講のみ学部学生の参加費は無料にします(要旨の配布はしません)

* 当日入会される参加者は、当日参加費(3,000円)と年会費(一般:5,000円、学生:3,000円)を申し受けます。

* 太白キャンパス周辺には昼食を購入するお店がありません。事務局ではお弁当(¥1,000)の注文を受けますので、こちらを利用するか、あるいは事前に昼食を購入し持参することを強くお勧めします。

* 事前参加申込期限は2021年8月27日(金)[必着]とします。

ただし、一般研究発表を希望される会員は、2021年8月10日(火)[必着]までに登録をお済ませください。

(オンライン開催の場合は、2021年8月27日(金)までに上記金額を当会口座(別紙4)へご入金下さい)

5. 参加申し込み方法

参加者は一般研究発表の有無に関わらず、別紙会員用または非会員用の参加登録票の様式により電子メールまたはFAXでお申し込みください。研究発表の共同研究者で参加を希望される方も、同様にお申し込みください。また大会終了後に、日本応用藻類学会総会を開催致します。総会に欠席される会員は、別紙4の様式にて委任状の提出をお願い致します(郵送により庶務幹事までご提出をお願い申し上げます)。

6. 参加申込票、一般研究発表登録票、発表要旨原稿の送付先

メールでの申し込み: soc_appl_phycol@yahoo.co.jp FAXでの申し込み: 088-683-7027

岡 直宏 徳島大学水圏教育研究センター 〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り壱 96-14

日本応用藻類学会第 19 回大会 企画シンポジウム

「原始紅藻のフィコビリソームが持つ特性に関連する生物学と生化学の最新研究」

酸素発生型の光合成を行う陸上植物や藻類にとって、生育場所での光環境を最大限に利用して光合成を行うことは、光エネルギーの糖としての化学エネルギーへの変換を行い、それを自身の生育・生存を可能にするエネルギーの供給源とする上で重要である。光合成はチラコイド膜にある光合成系 I と光合成系 II で行われるが、それらに光エネルギーを効率良く供給する役割を担っているのが集光性アンテナ複合体と呼ばれる巨大なタンパク質の複合体である。これは集光性色素タンパク質とそれらに結合する光合成色素から成り、特に水圏に生息する藻類では組成の異なる集光性アンテナ複合体が存在する。本シンポジウムは、ラン藻、灰色藻、および紅藻にのみ存在するフィコビリソームと名付けられた集光性アンテナ複合体に焦点を当て、特にスサビノリのフィコビリソームに関連する生物学や生化学における最新の研究成果を共有する目的で企画した。

フィコビリソームは色素体中に大量に存在し、その主要な構成成分はフィコエリスリン(PE)とフィコシアニン(PC)である。PE は赤、PC は青の色彩を持つが、通常 PE の量が多いので紅藻は赤褐色に見える。本シンポジウムにおける生物学の講演では、色落ちや補色順応などの藻体の色彩変化につながるフィコビリソームの分解や組成変化に関する最前線の研究が紹介される。いずれも環境変化への応答としての生理制御の研究であり、それらを通して原始紅藻が持つ環境応答能の特殊性を理解していただきたい。また、生化学の立場から、極めて大量に存在するフィコビリソームが特にタンパク質化学の研究に及ぼす影響について貴重な経験と今後の問題点について講演をいただく。これらの講演を通して、紅藻の研究がいかに難しいのかが再確認され、紅藻研究の明るい未来につながるその克服の方向性について議論されることを期待している。

(企画責任者:三上浩司)

プログラム

15:15~15:20 S01 趣旨説明

:三上浩司(宮城大学食産業学群)

15:20~15:50 S02 紅藻の窒素欠乏によるフィコビリソーム分解の分子機構にみられる特殊性

:瀧尾 進(熊本大学名誉教授)

15:50~16:20 S03 紅藻スサビノリがフィコビリソームを介して行う温度や光環境への応答と適応

:高橋 潤(東京農業大学)

16:20~16:50 S04 アマノリ生化学におけるフィコビリソームの存在-その天使的側面と悪魔的側面-

:山口健一(長崎大学)

16:50~17:10 S05 [総合討論]

:三上浩司(宮城大学食産業学群)

7. 会場案内

宮城大学(太白キャンパス)

[交通手段]

・バス利用(推奨)

「仙台駅前」バスプール7番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約40分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

・仙台市営地下鉄

「仙台駅」から約10分、「長町南駅」下車。バスに乗り換え

「長町南駅・太白区役所前」バスプール4番から、宮城交通バス「日本平」行き又は「仙台南ニュータウン」行きで約20分、「宮城大学太白キャンパス前」下車

・自動車利用(駐車場あり)

東北自動車道「仙台南I.C.」から、秋保温泉方面へ約10分で到着

・飛行機利用

「仙台空港」から仙台空港アクセス鉄道で約20分、JR長町駅到着。宮城交通バスへ乗り換え



行先	平日	土曜	日祝
仙台駅前	47 33 52 52 54 54 54 54 52 52 52	47 52 52 52 54 54 54 54 52 52	47 52 52 52 54 54 54 54 52 52
市役所前	09 07 07 04 04 07 07 07	07 07 07 04 07 07 07	07 07 07 04 07 07 07
市立病院	19 27 22 32 25 34 14 27 14	22 32 22 34 14 34 14	22 32 22 34 14 34 14
長町駅東口	24 03 16 37 22 37 17 04 37 15 37 22 22 22 19 53	42 22 16 37 22 37 17 37 22 37 22 22 22 22 14	42 22 16 37 22 37 17 37 22 37 22 22 22 22 14
行先	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22	6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22
仙台駅前	47 52 52 52 54 54 54 54 52 52	47 52 52 52 54 54 54 54 52 52	47 52 52 52 54 54 54 54 52 52
市役所前	07 07 07 04 07 07 07	07 07 07 04 07 07 07	07 07 07 04 07 07 07
市立病院	22 32 22 34 14 34 14	22 32 22 34 14 34 14	22 32 22 34 14 34 14
長町駅東口	42 22 16 37 22 37 17 37 22 37 22 22 22 22 14	42 22 16 37 22 37 17 37 22 37 22 22 22 22 14	42 22 16 37 22 37 17 37 22 37 22 22 22 22 14

↑キャンパス前からの各方面のバス出発時刻表

注意

- バス利用の場合で、キャンパス前までのバスに乗車できなかった場合(朝の乗車が困難な場合)は、
「仙台市営地下鉄-バス」の利用を、強く推奨いたします。
- 大会中は土曜日、日祝日の時刻表にて、予め時間をご確認下さい。

8. 一般研究発表の登録方法(口頭・ポスター発表を希望される方)

研究発表を希望される会員(演者のみ)は、別紙登録票と発表要旨の原稿を、電子メールで庶務幹事までお送りください。電子メールがお使いになれない会員は、庶務幹事までご連絡下さい。会場およびプログラム上の制約から、ポスター発表への変更を依頼する場合は生じるかもしれません。その場合はご協力をお願いします。

研究発表の演者は、日本応用藻類学会会員に限られます。非会員で演者として研究発表を希望される方は、事前に入会申込書(末尾に添付)をファックス、または、メールで送付後にご登録をお願い致します。なお、日本応用藻類学会の年会費は5,000円です(学生は3,000円)。

* 一般研究発表の登録 2021年8月10日(金)[必着]が期限です。

* 発表要旨原稿の送付 2021年8月15日(水)[必着]が期限です。

9. 発表要旨原稿の作成要領と原稿送付方法

原稿形式は、MS-WORD形式の電子ファイル、またはテキストファイルのみで受け付けます。原稿は、当日要旨集として配布するとともに、会の機関誌に掲載します。

掲載順序は演題、演者名、所属、本文の順に行を改めて書いて下さい。

共著の場合は演者名の前に○をつけて下さい。所属が異なるときは、各著者名の後ろに*、**、***印(上付き)を付し、所属の前に*、**、***印(上付き)を付して区別して下さい。

本文は目的、方法、結果などの小見出しを付けずに、700字以内で記載してください。フォントサイズや書式は事務局で統一するので、特に定めを設けません。ただし、なるべく全角文字(2バイト文字)はMS明朝体、英字(1バイト文字)はTimes New Romanを使用して下さい。2バイト特殊文字は、使用しないで下さい。(°Cは°Cのように英字2文字に分けてください)

句読点は和文原稿の場合、「、」と「。」を使用して下さい。

学名表示は下線付き表示ではなく、イタリック(斜字体)で表示して下さい。打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、著者校正はありません。

原稿は、下記の送付先に、「応用藻類春シンポジウム要旨(山田—1)」のような件名で、電子メールの添付ファイルとしてお送り下さい。図表を使われる場合は、TIFかJPG形式で別途のファイルを添付してお送りください。なお、5Mb以上の原稿は直接受信できない場合がありますので、事前にご連絡をお願いします。特殊な記号やJIS外字を使った原稿については、照合用にFAXを必ずお送り下さい。

原稿送付先アドレス: soc_appl_phycol@yahoo.co.jp

例)

スジアオノリ陸上養殖のための組織培養を用いた種苗生産

喜多郁弥*・團昭紀**・岡直宏***・齋藤稔**・浜野龍夫**

(*徳島大院・総合科学教育部, **徳島大院・社会産業理工学研究部, ***BIRC 鳴門)

スジアオノリ *Ulva prolifera* は徳島県が全国シェアの大半を占めている。実験では、スジアオノリ藻体 200g を-30℃で凍結後、ブレンダーにかけ-

10. 発表形式

(1) 口頭発表

時間: 発表 12 分, 質疑応答 3 分です。機器: デジタルプロジェクターのみが使用できます (OHP は使用できません)。ソフトウェアは Microsoft Power Point をご使用ください。

本大会で使用する OS および PowerPoint のバージョン:

Windows の方: Windows7 Office2010 以降

Macintosh の方: 大変申し訳ありませんがパソコンをご持参し、プロジェクターに接続してください。

接続アダプタやケーブルが必要な場合は、各自でご用意下さい。Macintosh のコネクターは、HDMI あるいは D-Sub (15pin) が接続可能です。

PowerPoint ファイルの受付: 午前の発表者は 9 時 30 分までに、午後の発表者は 12:30 までに演者用パソコンにご持参しコピーして下さい。データ受け渡しメディアは **USB メモリ**とします。USB についてはウイルスチェック済みのものをご使用いただき、講演ファイル以外は保存されないことにご留意下さい。上記メディアでの受け渡しができない方は発表前日までにご相談ください。発表者ご自身の氏名をファイル名に記してください (例: 山田太郎—1.ppt)。また発表者は、口頭発表前の休憩時間等にスライドの動作を確認してください。

(2) ポスター発表

サイズ: 縦 120 cm 以下, 横 90 cm 以下の大きさに作成して下さい。

貼り付け用具: ピンまたはテープを事務局が準備します。

必要記載事項: ポスター上部 (高さ 15~20 cm の範囲) に、発表番号, 表題, 氏名 (所属) を明記して下さい。

構成: 目的, 実験結果, 結論などについてそれぞれ簡潔にまとめた文章をつけて下さい。写真・図表: それぞれに簡単な説明文を添付して下さい。

フォント・図表サイズ: 少し離れた場所からでも判読できるよう調整して下さい。

掲示期間: 9 月 4 日 (土) 11:00 までに所定の場所に掲示し, 9 月 5 日 (日) 11:30 までに撤収して下さい。

ポスター集中討論を行いますので、その時間ポスター脇に待機してください。**集中討論の時間は、学会ホームページに掲載されるプログラムをご確認ください。** ホームページ URL <http://jsap.web.fc2.com/index.html>

【学生賞について】

第 19 回大会より、口頭発表およびポスター発表で各 7 名以上の発表がある場合に限り、学生賞 (優秀賞: 口頭発表, ポスター各 1 名ずつ) を設けます。対象は、学士、修士、博士課程の学生に限ります。学生の皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

【大会企画責任者】

〒982-0215

宮城県仙台市太白区旗立2-2-1

宮城大学 食産業学群 食資源開発学類

三上浩司

E-mail: soc_appl_phycol@yahoo.co.jp

日本応用藻類学会第19回大会

参加登録票【日本応用藻類学会会員用】

整理番号()

メールでのお申込みは soc_appl_phycol@yahoo.co.jp 日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAXでの申し込みは以下にお願いします。

FAX 088-683-7027 岡直宏 (徳島大学生物資源産業学部附属水圏教育研究センター)

締切(必着): **事前参加登録8月27日(金)**

一般研究発表登録8月10日(火), 発表要旨原稿提出8月15日(日)

氏名

所属

Tel - - Fax - - E mail @

参加登録形態(□にチェック, または, 不要な選択肢を削除してください)

- a. 一般研究発表: しない(聴講のみ), 共著者として発表、
演者として発表→希望発表形式: 口頭発表、ポスター発表

演題:

発表者氏名(所属)(共著者がいる場合は, 演者の左肩に○をつけて下さい):

* 演者のみ記入。複数発表されるかたは別票に記入し, 特に発表順番を指定する場合は, 本欄余白に記入してください。発表要旨原稿は8月15日(必着)までにメールでご送付ください。

- b. 弁当(お茶付きで1,000円を予定): 注文する, しない

太白キャンパス周辺には昼食を購入するお店がありません。

こちらを利用するか、あるいは事前に昼食を購入し持参することをお勧めします

- c. 同伴非会員: 同伴者なし、非会員を同伴する→同伴者のご氏名と所属

氏名(所属): _____ 計 名

同伴非会員懇親会出席 _____ 名出席

* 複数発表される場合は, その分の本票を送付してください。

別紙 2

日本応用藻類学会第19回大会

参加登録票【非会員用】

整理番号()

メールでのお申込みは soc_appl_phycol@yahoo.co.jp 日本応用藻類学会庶務幹事 岡 直宏 行

FAXでの申し込みは以下にお願いします。

FAX 088-683-7027 岡直宏 (徳島大学生物資源産業学部附属水圏教育研究センター)

ご芳名

ご所属

Tel - - Fax - - E mail @

(□にチェック、または、不要な選択肢を削除してください)

弁当(お茶付きで1,000円を予定) : □注文する、□しない

太白キャンパス周辺には昼食を購入するお店がありません。

こちらを利用するか、あるいは事前に昼食を購入し持参することをお薦めします

□同伴者がいる

氏名(所属): _____ 計 名

同伴非会員懇親会出席 _____ 名出席

別紙 3

No.

日本応用藻類学会入会申込書

私は、日本応用藻類学会の活動趣旨に賛同し、個人会員としての入会を申請します。

年 月 日

ふりがな

氏名:

所属(職名):

所属の住所:(〒 -)

印刷物送付先住所(ご自宅へ送付希望の方や所属の住所と異なる場合のみご記入ください)

電話番号: _____

FAX 番号: _____

E-mail: _____@_____

研究分野またはご興味のある分野に○を付けてください

○専門分野

生物学 生化学 工学 栄養・食品学 医学 薬学 総合科学 その他()

○研究内容

- ・生理制御:環境応答 形態形成 光合成 遺伝子発現 オミックス解析
- ・生体分子:機能性 香気 呈味 色素
- ・技術:加工 分析 増養殖 藻場造成
- ・資源:バイオマス バイオ燃料
- ・その他()

委 任 状

2021 年 月 日

日本応用藻類学会
会長 三上 浩司 殿

機関名：

連絡担当者名：_____ ← 自筆署名（または、押印）

代理人については、下の 1 または 2 に○印をつけて下さい（※2 を選んだ場合には代理人名をご記入下さい）。

1. 私は議長を代理人と定め下記の権限を委任します。
2. 私は出席会員_____を代理人と定め下記の権限を委任します。

記

日本応用藻類学会の 2021 年度総会に出席し、議決権を行使する一切の件。

以上

別紙 5

会費振込先: 振込み手数料はご負担ください。

会費振込先:

【ゆうちょ銀行】郵便局から振り込まれる場合

記号: 19510

番号: 04371971

加入者名: 日本応用藻類学会

【ゆうちょ銀行】郵便局以外の金融機関から振り込まれる場合

店名: 九五八(読み: キュウゴハチ)

店番: 958

預金種目: 普通預金

口座番号: 0437197

名義: 日本応用藻類学会

【楽天銀行】について

上記学会名義の新規口座開設にあたり、預金管理を一元化するため、従来使用していたネットバンクは解約・閉鎖いたします。大変ご不便をお掛けしますが、何卒よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。

事務局連絡先:

三上 浩司(会長)

〒982-0215 宮城県仙台市太白区旗立 2 丁目 2 番 1 号 宮城大学 食産業学群 食資源開発学類

岡 直宏(庶務)

〒771-0361 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦地廻り 96-14 徳島大学 生物資源産業学部附属 水圏教育研究センター

TEL&FAX 088-683-7027, E-mail: soc_appl_phycol@yahoo.co.jp